

学年	教科	教材
1年	美術科	美術Ⅰ（日本文教出版） 美術資料（秀学社）・ファイル・鉛筆・アクリル絵具・色鉛筆

1・学習の目的

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表す力をつける
- ・表現意図にあふ多様な表現方法を工夫し、美しく表現する力をつけ、見方や感じ方を深める
- ・創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

2・学習の方法

- ・授業の準備、片付けや提出物など、基本的な規律を守り、真剣に授業に取り組む
- ・真剣に作品と向き合い、自分が表したい表現を試行錯誤しながら見つけ、根気よく制作に取り組む
- ・自然や画家、友達が描いた作品からメッセージを読み取り、感じたことを根拠とともに自分の言葉で表現する
- ・授業のねらいや制作方法をしっかり押さえ、美術についての基礎知識を習得する

3・評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	【活動状況】【鑑賞ワークシート】【作品における感想】知識を活動に生かし、様々な表現に結びつけることができるかを評価する。【定期テスト】では用具の取り扱いや特製の理解、作品や製作方法についての知識理解の深さを判断する。
思考力・判断力・表現力	【制作の下絵（アイデアスケッチなど）】【途中作品や完成作品】【ワークシート】から自分らしいイメージを様々な角度から考えられているか、イメージを実現しようと創造的に構想を練ることができているかを評価する。【定期テスト】から、材料や用具の特性を理解しているか、主題に沿った表現ができているかを評価する。
学びに向かう力・人間性	【毎時の振り返り用紙】から、学習に取り組む姿勢を評価する。【鑑賞ワークシート】【作品における感想】から、対象をしっかりと観察し、よさや美しさを感じ取り理解しているかを評価する。【定期テスト】では作品に対する基礎知識を踏まえて、作品を深く理解しているかを評価する。

4・年間授業計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	オリエンテーション 鉛筆やペンで描く	・グレースケール	・授業内容の流れを知り、一年の学習に意欲を持つ ・道具の使い方や鉛筆の表現技術を学ぶ
5	鉛筆デッサン アクリル絵の具の使い方	・立体デッサン ・アクリル絵の具の特性を知る	・対象物をじっくり観察し、見方や構図など基礎的スキルを身につける ・絵の具の特性を知り、効果的に用いる ・色の三属性を基本に学習し、日常生活や表現活動に生かす
6	色彩学 【鑑賞】真珠の耳飾りの少女	・色彩の基礎知識を学ぶ	・色が持つ役割を考察し、生活に取り入れる工夫をする ・形や色彩などの組み合わせによる構成の美しさを捉える
7	文字の基本 レタリング	・基本的なレタリングを学ぶ ・文字の意味、用途、種類を知る	・レタリングの意味や用途を知り、視覚伝達デザインにおける文字の重要性やデザインの意味を知る ・レタリングの方法や基本的な書体の書き方を知る
9	モダンテクニック モダンアート	・モダンテクニックの技法 ・技法を生かした作品制作 ・琳派の作品を鑑賞する	・モダンテクニックの各技法の手順や表現の違いを学ぶ ・色と形と材料の楽しさを知り、作品を作る ・絵の具の面白さ、技を発明する面白さを見出す ・江戸時代の琳派の作品や作者に触れ、美術文化について考える
11	文様		・自身のイメージを図案化して他者に伝える ・図案を再構成して、作品制作をする
12	エコバック作り		・絵の具の特性を生かし、表現活動に生かす ・作品の良さや美しさ、作者の思いを自分なりに感じ取る
1	【鑑賞】アーティスト調べ	・印象に残った作品から、その作者の人生について調べる	・作品を制作した作者を知ること、作品を深く鑑賞し思いを感じ取る
2	本物そっくり粘土	・野菜や果物を粘土で制作する ・作品鑑賞	・対象物をじっくり観察し、描く力をつける ・立体作品の実習を通して、立体の把握を感覚として獲得する
3			・混色技術を生かし、本物に近い彩色の工夫をする ・完成した作品を通して意見交流し、作品を味わう

※ 上記の内容は進度によって変更される場合があります